

収蔵考古資料展「都留市の先人たち」開催中

先月号に引き続き、収蔵考古資料展「都留市の先人たち」の内容をお知らせいたします。都留市で最も古い人々の生活は、一杯窪遺跡で発見された約3万年前の石器によって確認できます。先人たちの営みの始まりです。

そして、縄文時代を迎えると都留市内の多くの遺跡で人々が活動していたことが確認できます。さて、縄文時代というと、みなさんはどんな想像をしますか？縄文時代には、耳飾りや首飾りなどのアクセサリーがつくられたり、お祭りをするために土偶がつくられたりと、豊かな生活をしていたのです。原始的なイメージが強いかもしれませんが、今回の展示をみてその生活の華やかさを感じてください。

さて、次の弥生時代になると都留市内の遺跡は少なくなります。いったいなぜでしょうか？さらにその次の古墳時代には、都留市には全くと言っていいほど遺跡がありません。市内には古墳がひとつもないのです。はたして先人たちはどうしてしまったのでしょうか？そんなミステリアスな空白の時代を解き明かすヒントは展示の中で紹介しております。

奈良時代・平安時代、都留市をはじめ郡内地方は甲斐国都留郡に属していました。その都留郡には多良郷という郷がありました。都留市の三ノ側遺跡では、「和同開珎」が発見されています。日本で作られた2番目に古い貨幣です。貨幣をもっているということは、階級の高い人々が生活していたと考えられます。ちなみに三ノ側遺跡がある都留市田原は多良郷の「たら」が時代とともに変化して「たはら」になったという説もあります。

「都留市の先人たち」では、多くの考古資料をもとに都留市の壮大なスケールをもつ歴史を紹介しております。この機会に是非、ふるさとの歴史を見つめなおしてください。



尖底土器(押型文) 尾咲原遺跡
縄文時代早期約8000年前



かめ形土器 牛石遺跡
弥生時代中期約2000年前



かめ形土器 掘之内原遺跡
奈良時代約1300~1200年前

会期 2月29日(日)まで
開館時間 午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
休館日 毎週月曜日・第3火曜日・祝日の翌日
観覧料金
 一般 300円(210円)
 高校・大学生 200円(140円)
 小・中学生 100円(70円)
 ()内は20名以上の団体料金です。
 ※ミュージアム都留と増田誠美術館は、共通観覧料です。

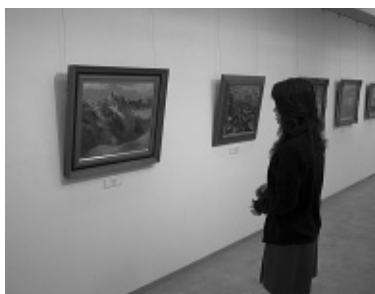
講演会「古代の都留郡を考える」

古代の都留郡について、近年の発掘調査事例報告を交えて考えて行く講演会。

日時 2月22日(日) 午後1時30分~

コーディネーター 奈良泰史

発表者 都留市・大月市・上野原町の
埋蔵文化財担当者



増田誠美術館企画展
「増田画伯の作品」
市民収蔵展「開催中！」
3月21日まで

開催期間中のイベント

○「^{まがたま}勾玉を作ろう！」

日時 2月8日(日) 午後1時30分~

内容 ろう石で勾玉を作ってアクセサリーにしたり、携帯ストラップやキーホルダーにつけましょう！

○「^{どぐろ}土偶づくり教室」

日時 2月15日(日) 午後1時30分~

内容 紙粘土を使って、自分だけの土偶を作りましょう！

定員(各教室) 30名

参加費(各教室) 100円

事前に申し込みが必要です。

問合せ先 都留市博物館 「ミュージアム都留」 ☎(45)8008/☎(45)8608
 分館増田誠美術館 (ふるさと会館2階) ☎(45)4111